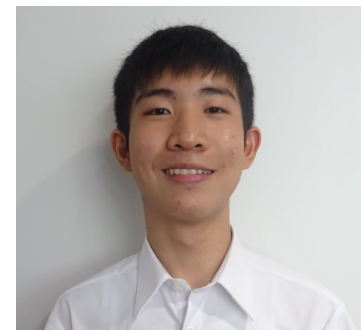


題名 派遣事業を通して学んだこと

鹿沼市立東中学校 (氏名) 渡邊 拓磨



僕は今回の派遣を通して広島現地に残されている資料でしか体験できない戦争の当事者の苦しみや悲しみ、そして自分たちにはそのことを周りの人に伝える義務があることを学びました。

僕たちは初日に平和記念資料館に行き、原爆についての資料で戦争の実態を学びました。教科書で見たものとは別物のありのままの被爆者の姿や声を見て、僕は改めて原爆の恐ろしさを実感しました。そして、世界にはこれと同じことが起こる可能性が残っていることに強い危機感を覚えました。原爆というのは、この世にあってはならないものです。僕は原爆がこの世にあるという現状を少しでも変えるために、まずは自分が広島で体験したことを周りのみんなに伝えていこうと思います。